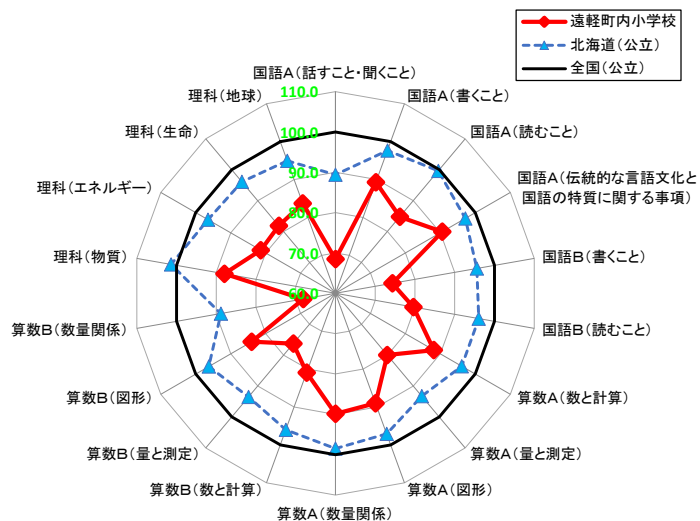


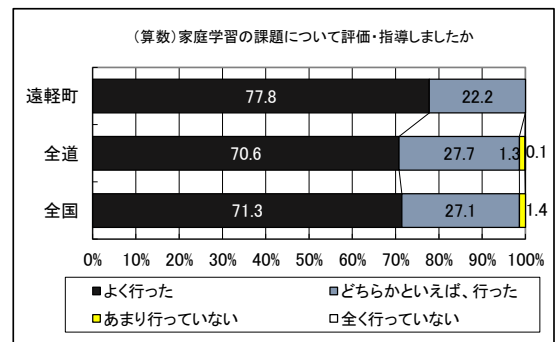
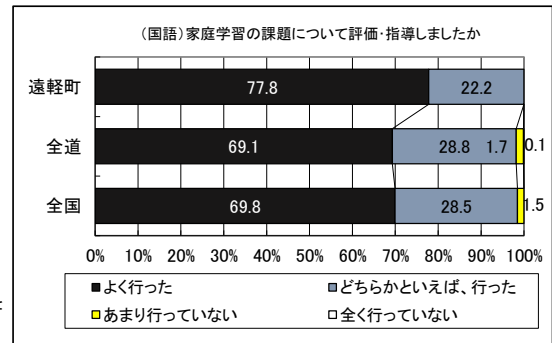
■遠軽町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:9、児童数:190名)

【教科全体の状況】

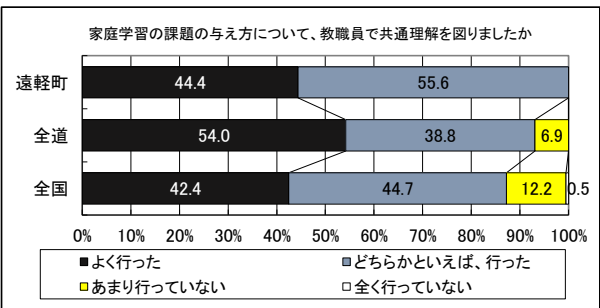
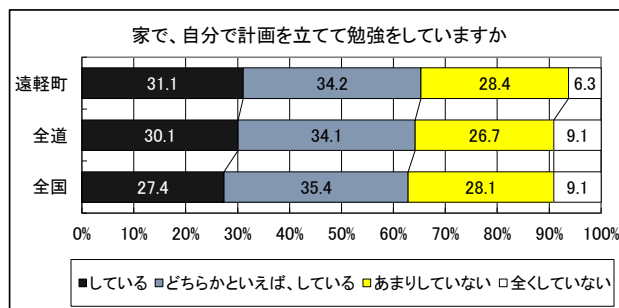
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは「伝統的な言語文化国語の特質に関する事項」の設問の中で、平均正答率が、全国・全道とほぼ同様な数値が見られる。 ○ 算数Aでは「図形」で平均正答率が、全道とほぼ同様になっている。 ○ 理科の「物質」の設問で、平均正答率が、全国を上回っている数値が見られる。	○ 各学校において、家庭学習の課題の与え方について共通理解を図るとともに、与えた課題について評価・指導を行うことにより、児童に家で計画を立てて学習する習慣が身に付いていると考えられる。
児童質問紙	○ 「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問に「している」と回答した児童が全国を上回っている。	
学校質問紙	○ 「(国語・算数)家庭学習の課題について評価・指導しましたか」の質問に「よく行った」と回答した学校の割合が全国を上回っている。 ○ 「家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図りましたか」の質問に「よく行った」と回答した学校の割合が全国を上回っている。	

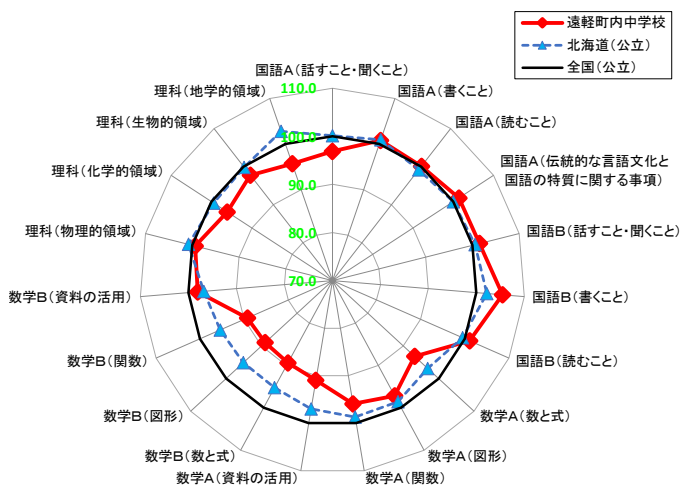
【遠軽町の学力向上策】

- ◎ コミュニケーション能力の向上と国際理解教育の推進
- ◎ 外国語活動における言語や文化に対する理解を深めるために、英語指導助手3名を配置
- ◎ 特別支援教育支援員を小・中学校に配置

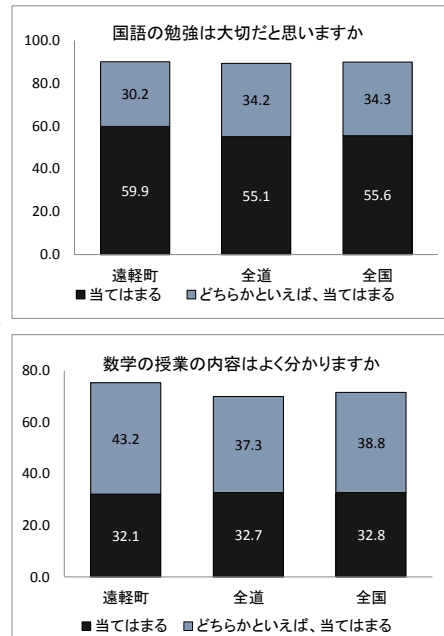
■遠軽町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:7校、生徒数:162名)

【教科全体の状況】

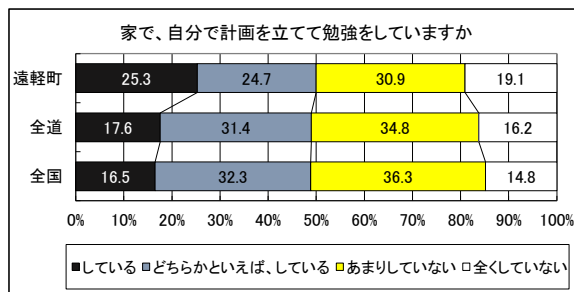
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



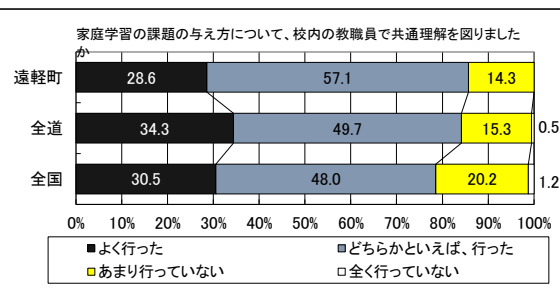
【生徒質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aの「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、国語B「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」で全国を上回っている。 ○ 数学Aでは、「図形」領域の「図形をかく」「空間図形の理解」の問題で、全道・全国を上回っている。 ○ 理科では、「自然事象についての知識・理解」が他の観点に比べて高く、全国を上回っている。	○ 各学校が家庭学習の課題の与え方について教職員で共通理解を図った取組を行うことで、生徒が家で計画を立てて勉強できるようになり、学習意欲の向上につながっていると考えられる。
生徒質問紙	○ 「国語の勉強は大切だと思いますか」「数学の授業の内容はよく分かりますか」という質問に、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合が全道・全国を上回っている。 ○ 「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問に「している」と回答した生徒の割合が全国を上回っている。	
学校質問紙	○ 「家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図りましたか」という質問に「よく行った・どちらかといえば行った」と回答した学校の割合が全道・全国を上回っている。	

【遠軽町の学力向上策】

- ◎ コミュニケーション能力の向上と国際理解教育の推進
- ◎ 外国語活動における言語や文化に対する理解を深めるために、英語指導助手3名を配置
- ◎ 特別支援教育支援員を小・中学校に配置